

【政治】

17 日：唐軍書記、「两学一做」学習会に出席

17 日、唐軍大連市党委書記は大連市党委監査室党支部の「两学一做」学習会に出席した。書記は会議上、党員に対して党の規則を遵守する意識を持ち、党規範に則って己の言動を律するよう述べた。（18 日付半島晨报 A11 面）

18 日：市党委常務委員会議開催

18 日、唐軍大連市党委書記の主宰で大連市党委常務委員会議が開催された。会議は習近平総書記の人材発展体制メカニズム改革の深化に関する重要指示の精神を学習貫徹し、大連市が中央 7 号文件（東北老工業地区の再振興に関する政策）の精神を実行に移していくための実施方案を検討・可決した。（19 日付半島晨报 A10 面）

【経済】

14 日：市政府、第 13 次 5 年計画期に就業人口を 40 万人増加させる計画を発表

先日市政府がネット上で発表した人力資源・社会保障事業発展に関する通知によると、第 13 次 5 年計画期間中、大連市は都市部では新たに 40 万人分の就業を創出し、都市登記失業率を 3% 以内におさえることを目標としている。（14 日付大連晩報 A02 面）

国家エネルギー局、大連市の化学エネルギー貯蔵施設建設計画を批准

大連市発展改革委員会によると、国家エネルギー局は大連市が組織展開する国家級大型化学エネルギー貯蔵モデル施設の建設計画を批准した。同エネルギー局が国家級の化学エネルギー貯蔵モデル施設の建設を許可したのは今回が初めて。（16 日付大連日報 1 面）

17 日：大連市経済貿易代表団、米国、ブラジル、アルゼンチン訪問から帰国

17 日、肖盛峰大連市長を団長とする大連市経済貿易代表団は、米国、ブラジル、アルゼンチン 3 カ国への友好訪問と経済貿易活動を終え、大きな成果を上げて大連に帰ってきた（代表団は、サンフランシスコ、クリーブランド、ダラス、リオデジャネイロ、ブエノスアイレス等を訪問）。（18 日付半島晨报 A11 面）

17 日：唐軍書記、中国東方資産管理公司党委の吳躍書記と会見

17 日、唐軍大連市党委書記は中国東方資産管理公司党委の吳躍書記一行と会見し、大連銀行の発展等について意見交換した。（同公司是國務院の批准を受け成立した 4 大金融資産管理会社の一つであり、同公司是 2015 年末より大連銀行と戦略的投資関係を結んでいる）。（18 日付半島晨报 A11 面）

17 日：唐軍書記、中国第一重型機械集团公司の劉明忠董事長（兼同党委書記）と会見

17 日、唐軍大連市党委書記は、中国第一重型機械集团公司及び新興際華集团公司の劉明忠董事長（兼両社の党委書記）一行と会見し、今後の協力の強化等について意見交換を行った。（中国一重社はこれまで大連の原子力発電設備産業の発展に協力してきた。）（18 日付半島晨报 A11 面）

18日：肖盛峰市長、中華全国供銷合作総社理事会の楊建平副主任と会見

18日、肖盛峰大連市長は、中華全国供銷合作総社（中華全国購買販売協同組合）理事会の楊建平副主任（兼中国供銷集团有限公司董事長）一行と会見した。楊副主任は越境E C等の分野で大連市と協力して行きたい等述べた。

（19日付半島晨报 A10面）

18日：大連とベラルーシを結ぶ国際貨物輸送列車が正式開通

18日、建築資材等のコンテナを満載した国際貨物輸送列車が、大連港鉄路中心駅からベラルーシ・ミンスクへ向け出発した。中国政府は今年正式に「一帯一路」全体計画を発表し、大連港は東北地区の港で唯一計画の一部として組み込まれ、同貨物便は同計画が発表された後開通した最初の大連港を起点とする国際貨物便となる。（19日付大連日報 1面）

19日：肖盛峰市長、「啓迪控股」の王濟武総裁と会見

19日、肖盛峰大連市長は、啓迪控股株式有限公司の王濟武総裁及び同社の顧問である韓中交流協会の金容徳会長の一行と会見した。（昨年12月、「啓迪控股」所属の啓迪科技城投資発展有限公司は高新区管理委員会と「大連啓迪科技城プロジェクト協力取決め」を締結している。）

（20日付半島晨报 A11面）

19日：肖盛峰市長、首都農業集团有限公司の張福平董事長と会見

19日、肖盛峰大連市長は、首都農業集团有限公司の張福平董事長一行と会見した。同社は今後2.5億元を投じ、大連市においてコールドチェーン物流基地及び国際貿易基地を建設する予定。

（20日付半島晨报 A11面）

【社会・文化】

15日、16日：第14回大連国際ウォーキング大会開催、20万人が参加

15日及び16日、第14回大連国際ウォーキング大会が開催され、延べ20万人が参加した。（16日付新商報 A03面）

17日：「一帯一路人文交流メカニズム共同イノベーションセンター」がオープン

17日、大連外国語大学にて行われた上海協力機構メンバー国家による「国境なき教育」活動の開幕式上、大連外国語大学「一帯一路人文交流メカニズム共同イノベーションセンター」が正式にオープンした。同センターは、大連外国語大学が中心となり、外交部、外交学院、社会科学学院及び「一帯一路」戦略沿線国家の大学等によって共同で設立されたもの。（18日付新商報 A04面）

「第1回中日10都市千人アカシアウォーキング大会」、22日に開催

5月22日から28日の日程で、「第27回大連アカシア祭り及び東北アジア国際観光文化ウィーク」が開催される。期間中、大連市中日友好協会は、「第1回中日10都市千人アカシアウォーキング大会」等の日中間の観光・文化交流のための催しを行う予定。（19日付新商報 A04面）

【日本関連報道】

14日：旅順のロシア式建物に歴史愛好家らが注目

日本軍（第38連隊）が旅順にて撮影した一枚の写真資料を入手した大連市の歴史愛好家が検証したところ、現在旅順で廃品回収所となっている古いロシア式の建物は、南京大虐殺（マ）に参加したとされる日本軍の部隊（第16師団第38連隊）も兵舎として使用したことがある建物であることがわかった。（14日付大連晩報 A03 面）

17日：旅順日露監獄跡地博物館、日本帝国主義の侵略に関する展覧会を開催

17日、大連市文化広播影視局が主催し、旅順日露監獄跡地博物館及び韓国西大門刑務所歴史館が開催を請け負った「日本帝国主義の侵略と西大門刑務所の展覧会」が旅順日露監獄跡地博物館にてスタートした。同展覧は7月31日まで行われる予定。（18日付大連日報9面）

（注）5月14日～5月20日の大連日報、半島晨报、大連晩報、新商報の記事をもとに作成。